

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略で、2015年9月に国連サミットで、全会一致で採択された誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す、2030年までの世界共通の目標です。

明石市では、すべての人が、いつもまでも住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、社会的な孤立や疎外感を感じることなく、未来に明るい希望が持てる持続可能なまち「SDGs未来安心都市・明石」をまちのみんなのパートナーシップにより実現を目指しています。

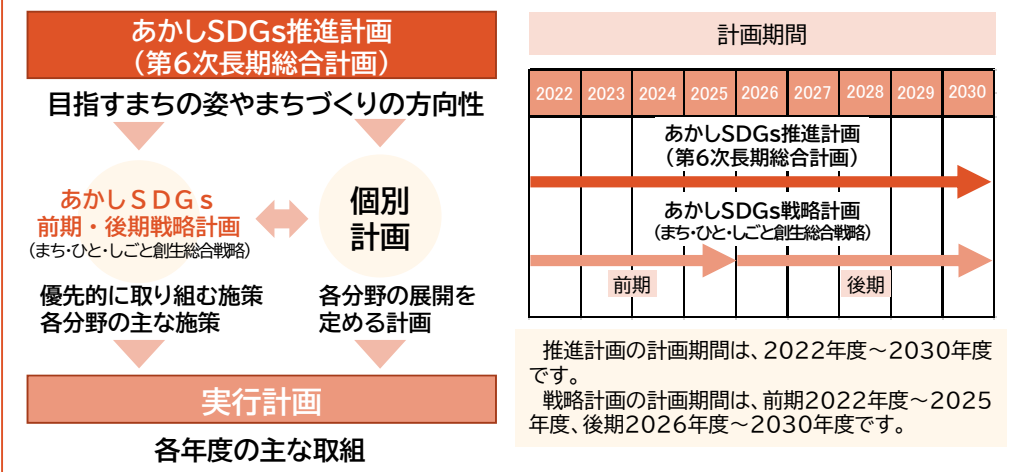
先進的な取り組みが国から評価!

県内初 SDGs 未来都市に選定

2020年7月

SDGsの達成に向けて取り組んでいる都市として、内閣府から「SDGs未来都市」に選ばれました。

両計画の基本情報



あかしSDGs推進計画 (第6次長期総合計画)
あかしSDGs戦略計画 (まち・ひと・しごと創生総合戦略)

概要版

令和4(2022)年3月
【発行・編集】明石市政策局企画・調整室 明石市中崎1丁目5番1号
【TEL】078-918-5010 【FAX】078-918-5101
【市ホームページ】http://www.city.akashi.lg.jp



計画の詳細

概要版

あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)
あかしSDGs前期戦略計画(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

2022年度からスタートする新たな長期総合計画「あかしSDGs推進計画」が策定されました。この計画は、市の最上位に位置づけられる行政計画で、まちづくりを総合的・計画的に推進するための指針となるもので、市民と共有できるまちづくりの目標を定めています。「持続可能」「誰一人取り残さない」「パートナーシップ」というSDGsの理念を取り入れ、本市が進めてきた「やさしいまちづくり」をさらに前進させていきます。

2030年のあるべき姿

明石市では、これまで「住みたい、住み続けたいまち」の実現に向けて、多様なまちづくりの担い手の参画と協働のもとで、「こどもを核としたまちづくり」、「すべての人にやさしいまちづくり」を推進してきました。こうしたまちづくりにより、多くの人々に明石が選ばれ、まちの好循環が生まれるとともに、市民のまちづくりに関する満足度が高まっています。今後は、まちの好循環、市民満足度の向上をさらに推し進め、みんなで支え合い、みんなで助け合える、誰にとっても暮らしやすいまちを目指します。



SDGs 未来 安心都市・明石

いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで

いつまでも 持続可能

まちの好循環により、明るい未来につながるサステナブル(持続可能)なまちづくりに取り組みます。

やさしいまち

やさしい社会を明石から

経済・社会・環境の統合的の向上を目指し、ハード・ソフト両面から安心して暮らし続けられるやさしいまちづくり(やさしい社会を明石から)に取り組みます。

すべての人に 誰一人として取り残さない

年齢・性別・国籍・障害などに関わらず、すべての人が安心を感じられるインクルーシブ(誰一人として取り残さない)なまちづくりに取り組みます。



みんなで パートナーシップ

市・市民・事業者などが一丸となってみんな(パートナーシップ)で目標の達成に向けて取り組みます。



すべての人が 住みやすいまちに

2030年度の目標

住みやすいと思う人の割合: 100% 人口: 30万人の維持

これまでの「すべての人にやさしいまちづくり」を基礎としつつ、SDGsの「持続可能」、「誰一人取り残さない」、「パートナーシップ」の考え方をまちづくりの基軸として位置付け、経済・社会・環境の三側面からの統合的な取組による相乗効果を生み出し、暮らしの質と安心、まちの魅力を高めることで、まちの好循環の維持・拡大を図り、持続的な発展につなげていきます。

経済 にぎわいと
活力が持続するまち

社会 すべての人が助け合い
安心して暮らせるまち

環境 人にも自然にも
地球にもやさしいまち

三側面の統合的な取組



三側面については、総合的にバランスよく、さらに相乗効果を生み出すように取り組むことで、持続可能なまちづくりを進めます。

柱1

豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める



豊かな自然と共生し、自然と調和の取れたまちづくりを進めることで、より快適で持続可能な暮らしを実現します。

- **脱炭素社会の実現**
再生可能エネルギー利用の促進、脱炭素の暮らし・まちづくりの推進 など
- **循環型社会の実現**
持続可能なごみ処理体制の確立、ごみ減量施策の推進 など
- **自然環境の保全と活用**
豊かな海づくりの推進、緑の保全と活用、生物多様性の保全 など



柱2

(インクルーシブ社会)
笑顔あふれる共生社会をつくる



誰もが住み慣れた地域で自分らしく、社会の一員として生きがいを持って暮らし続けられる笑顔あふれる共生社会づくりを進めます。

- **支え合う地域づくり**
小学校区単位の協働のまちづくりの推進、みんなの居場所づくりの推進 など
- **自分らしく生きることができる社会づくり**
認知症の人や家族への支援の充実、ジェンダー平等の推進 など
- **健康・長寿の推進**
高齢者の活躍支援、健康意識の啓発と地域での健康づくりの推進 など



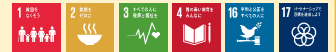
施策展開の5つの柱 —あかしSDGs前期戦略計画—

「あかしSDGs前期戦略計画(まち・ひと・しごと創生総合戦略)」には、左記の経済・社会・環境の三側面の方向性に基づき、施策展開の5つの柱とそれぞれの柱に関連するSDGsのゴールを定めるとともに、優先的に取り組む施策を定めています。

5つの柱に基づく施策展開については、5つの柱がバランスよく、相互に作用して相乗効果が生まれるように取り組みます。

柱3

こどもの育ちをまちのみんなで支える



将来のまちづくりの担い手であり、まちの未来であるこどもの育ちを社会全体で支えます。

- **安心して子育てができる環境の整備**
子育てと仕事の両立のための環境整備、子育てにかかる無料化施策等の推進 など
- **一人ひとりに応じた質の高い教育の推進**
小中学校における少人数学級の拡充、学校教育におけるICT化の推進 など
- **こどもの状況に応じた適切な支援**
「こどもの居場所」づくりの推進、こどもの夢応援プロジェクトの推進 など



柱4

安全・安心を支える生活基盤を強化する



市民の暮らしや経済活動を支える、持続可能で安全・安心な生活基盤を整えます。

- **防災・感染症対策の強化**
地域防災力・災害対応力の向上、新型コロナウイルス対策の強化 など
- **日常の安全・安心の確保**
消防・救急体制の強化、良好な住環境づくりなど
- **誰もが利用しやすく安全で強靱な都市基盤の整備**
交通安全施設の充実、安全で快適な市街地環境の整備 など



柱5

まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す



まちの宝物を生かし、更に、新たな魅力を生み出して、定住・交流人口を増やすとともに、多様な働き方を実現できる雇用環境づくりや地域経済の循環を推進し、まちの元気につなげます。

- **地域産業の振興**
農水産業・商工業の振興、多様な働き方の支援 など
- **豊かな心を育む文化・芸術の推進**
本のまち明石の推進、歴史のまち明石の推進 など
- **まちの魅力を生かした販わいの創出**
時のまち明石の推進、ユニバーサルツーリズムの推進 など

